

-----4月4日-----

## 今週のアウトルック(4/4～4/8)

先週は各通貨ペアとも、大幅に円安が進みました。  
特に金曜日の米国雇用統計の好結果は、上昇に拍車をかけたようです。  
今週は、レジスタンスとなるポイントまで到達している通貨ペアが多く、一度大きく調整が入るのか、それともそのまま通過してしまうのか、見解が分かれるところだと思います。

ドル円は雇用統計発表後に、昨年11月からのレジスタンスとなる84.5円を一度超えましたが、NY市場が後半に向かうにつれて、84円付近まで戻しています。この戻しが、単なる利益確定によるものか、レジスタンスからの戻りなのかは見方が分かれるところだと思います。週明けに一度調整が入るのか、それともそのままレジスタンスをクリアしてしまうのか、可能性的には5分5分のような気もします。ただ、レンジ維持的な状況が続き、再び82円付近まで下落してしまう可能性は少ないように思いますが、ユーロドルの動き次第では、その可能性もないとは言い切れないように思います。

ドル円の予想レンジは83円から85円です。

ユーロ円は115円から116円のレジスタンスを、完全にブレイクしてしまったようです。チャート的には128円あたりまで、レジスタンスらしいものも見当たりませんが、今週、ここまで一気にってしまう可能性は低いように思います。  
木曜日に予定されているECB総裁の記者会見で、追加利上げの可能性が示されなければ、大きく調整する可能性も否定できないように思います。

ユーロ円の予想レンジは116円から121円です。

ポンド円は、当面のレジスタンスである、136円をブレイクできれば、145円あたりまで、レジスタンスらしきものは見当たらないように思います。

ポンド円の予想レンジは134円から138円です。

今週は円安トレンドが今後も継続するのか、それともレンジ的な動きに戻ってしまうのか、今後の大きな分かれ目となる週のように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。